

【 検 査 】

80 血液採取（静脈）での血液ガス分析の算定について

《令和6年3月29日》
《令和8年6月1日更新》

○ 取扱い

代謝性アシドーシス（糖尿病性ケトーシス、糖尿病性ケトアシドーシス等）に対する血液採取（静脈）でのD007「35」血液ガス分析の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

静脈血における血液ガス分析でも、酸塩基平衡などの評価が可能である。

糖尿病性ケトーシス、糖尿病性ケトアシドーシスなどの代謝性アシドーシスは、重炭酸イオン（ HCO_3^- ）が減少する（体内の酸塩基平衡が酸性に傾く）病態であり、血液採取（静脈）でのD007「35」血液ガス分析の算定は、原則として認められると判断した。